



軌陸検測車





車上撮影システムの取得データを地上設備で抽出・判定。
AIで設備の良否判定を支援。

鉄道事業者様の課題

労働力の減少

鉄道沿線設備の検査は、
現在作業員が現地で実施

鉄道沿線設備の地上検査の車上化を実現

検査の車上化システム

夜間検査を実現

夜間でも画像取得が可能なカメラ
および近赤外線照明を活用

AIによる判定支援

センサでは捕捉困難な設備の異常
に関する判断をAIが支援

ATS検測・ レール検測と統合

ATSの地上子検測や
レール周りの設備検査が可能

設備管理を支援

位置情報や設備台帳との紐づけで
設備管理業務を支援



総合検測車の機能(装置)を小型化し、軌陸車に搭載。

総合検測車

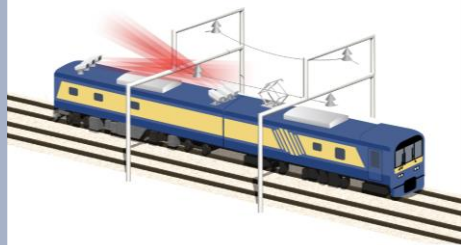
車上機器実機写真



カメラ(全景用)



照明(前方用)



軌陸検測車

電気設備
撮像装置

電気設備撮像装置

屋根上カメラ 照明

- ・カメラ制御
- ・照明制御
- ・データ記憶部

床下カメラ

ATS測定装置

車上子



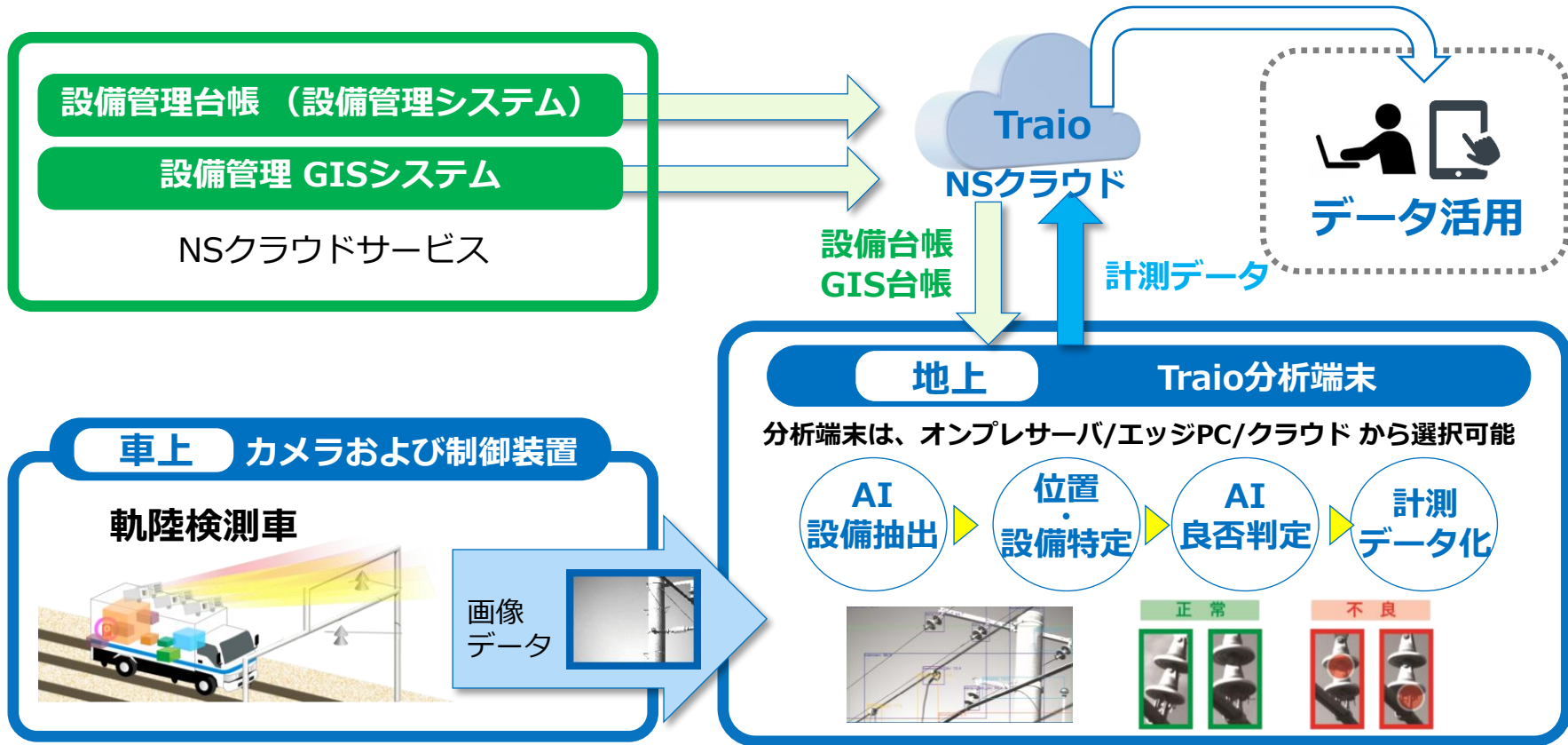


軌陸検測車

検査方法

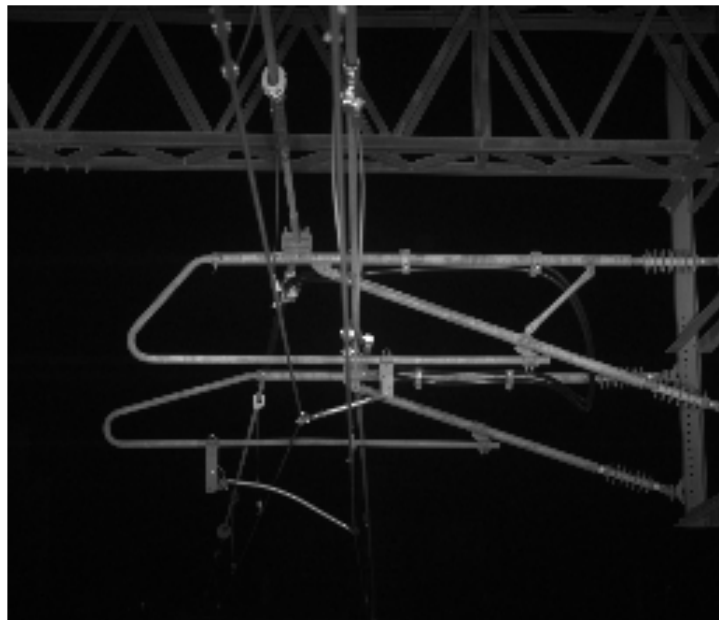
NIPPON SIGNAL

車上で撮影した画像データを地上装置で解析し、クラウド経由でデータ活用。





屋上カメラ



可動ブラケット

側方カメラ



コンクリート柱



床下カメラ



地上子



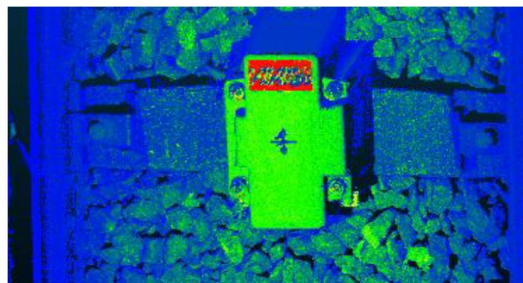
レールボンド



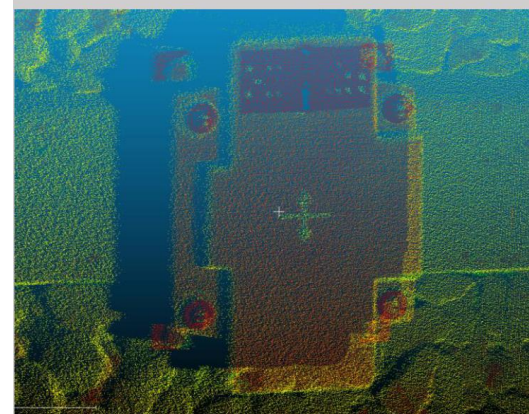
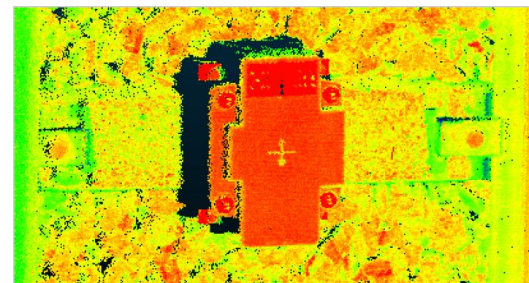
床下カメラ



加工データ



3Dカメラ（今回搭載）



LiDARセンサ